

2013-2014 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

9



国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度ガバナー 安孫子 建雄

2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES



国際ロータリー第2510地区 2013-14年度 行動指針

- I 大震災復興への支援事業継続
- II R I 戦略計画・財団未来の夢計画の理解と奉仕事業実践
- III クラブの運営を点検し会員の参加意欲向上を図り
会員の維持増進につなげよう
- IV グループ・クラブ間の交流を盛んにし会員の世界を広めよう
対面での交流を基本とし、情報交換にITを活用しよう

CONTENTS

目次	ガバナーメッセージ	1
	新世代月間に思う	2
	ローターアクトクラブの活動	3
	「インターアクト研究会」報告	4
	青少年交換事業について	5
	R Y L A 委員会の取り組みについて	6
	地区会員増強セミナー報告	7
	2015-16年度会長にラビンドラン氏	8
	石垣博美バースト・ガバナーご逝去	9
	公式訪問報告	11
	ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い・ 第47回「おたる潮まつり ねりこみ」参加	16
	訃報・文庫通信	17
	新会員のご紹介	18
	地区カレンダー	19
	出席率・会員数	20



9月は新世代のための月間

国際ロータリー第2510地区

2013-2014年度ガバナー **安孫子 建 雄**
(江別RC)

異常な天候が続いた今年の夏は終わり、さわやかな秋晴れがめぐって来ます。各クラブの皆さんはそれぞれの奉仕活動に関わり活躍されていることと推察いたします。

公式訪問は8月までに33クラブを終えています。

地域のことや国外での奉仕を積極的に実施しまさに地域で世界で活躍するロータリアンが多く存在することをガバナーとして実感しているところです。9月は新世代のための月間になっています。改めて私達は若者のことに心してみたいかたがたでしょう。昔から年配者は若者の姿を見、言葉を聞いて「今どきの若い者は何をしているのか」と言っていました。それはこの先も永遠に続くことと思います。

時として私達が若者に良かれと思って行うことが分かってもらえないこともあります。自分の子でも同様のことがあります。私達の心が若者に通じるにはタイムラグがあります。

しかし命を全うするものとして後代に伝えなければならないことはたくさんあります。親兄弟に育てられ一人前に自立したら、今度はみんなにお返しできる人生を送ってほしいと私達は願います。一人ひとりがそれぞれ個性を持ち自分の世界を作ります。若者がそれぞれの多様性を認めお互いを理解し相手を大切に思うようになれるために私達は環境を用意して行かなければなりません。

我が子を思う心をもって、周りの子、地域の子そして外国の子の成長のために私達は奉仕する事ができます。いつか若者が私達の奉仕の心に気づいてくれるでしょう。無償の奉仕、報酬や成果を求めない親心を発揮しましょう。今の世情は決して若者に良い環境とはいえません。少子化の流れはとどまりません。それでも子供に恵まれ、家族となり、将来に続く世界を私達の周りに築いていきましょう。

ロータリーの心をつなげるために若者のことを見つめ、良かれと思いながら関わりたいと思います。

この夏福島県飯舘村の避難中の子どもたちに北海道の夏を提供する事業を行いました。子どもたちは表には出ませんが様々な苦難を背負っていると感じました。あの子たちがふるさとを思い、仲間たちと暮らせるようになるにはまだまだ時間がかかることでしょう。どこで活躍するにしてもいつかまた北海道に来てくださいと言ってお別れしました。私達の住むまちや地域が活力と魅力に溢れ、若者がそこで活躍できる環境づくりに奉仕の心を発揮しましょう。若者たちが育つ「ふるさと」がずっと「故郷」であるであるために地域と我が職業に奉仕をつなげていきたいと思ひます。

<新世代入門から>

新世代と奉仕部門 長い歴史の中で、ロータリアンはそれぞれの地域で青少年の支援に力を注ぎました。RI戦略計画は、5つの全奉仕部門でバランスの取れた活動を行うことを目指しており、活動によっては複数の部門に当てはまるものもあります。新世代奉仕は、青少年や若者のためのロータリアンによる活動の価値を認め、そうした活動をさらに広げるようクラブに奨励するものです。その土台には、「すべてのロータリアンには、若い人々が抱えるさまざまなニーズを認識し、彼らの人間的・職業的成長を支援する責務がある」という考え方があります。

「新世代」とは、ロータリー家族の最も若い世代の人々を指し、その多くは、青少年や若者を対象としたロータリーのプログラム（インターアクト、ローターアクト、青少年指導者養成プログラム [RYLA]、青少年交換）の参加者たちです。さらに、ロータリー・クラブや地区の活動に参加している奉仕志向の若者たちも含まれます。

新世代のための月間

9月は「新世代のための月間」です。この月間は、地域の優れた若者や、ロータリーの青少年プログラムへの参加者の業績を表彰するのに最適です。また、クラブ例会でインターアクトやローターアクトの活動を紹介したり、これらの若者たちを例会に招待して活動について発表してもらったり、地域の青少年のための新しいプロジェクトを始めたりするのもよいでしょう。

2010年、「新世代奉仕」はロータリーの第五の奉仕部門となりました。標準ロータリー・クラブ定款第5条に、以下のよう

に定義されています。奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

新世代奉仕では、クラブの職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕プロジェクトにおける青少年や若者の参加を促進し、こうした世代の支援を目的としたプログラムやリソースをクラブが積極的に提供していくことが重要で



新世代月間に思う

新世代奉仕委員会

委員長 柳

孝 一

(札幌幌南RC)

2010年規定審議会でクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に新世代奉仕が第五の奉仕に加えられ、昨年度くらいから地区・クラブで理解が行き渡った実感できるようになりましたが、2013年今年の規定審議会において「新世代奉仕」から「青少年奉仕」変更することが採択されました。十数年前に「青少年」から「新世代」に変更になり、2013年の規定審議会で「青少年」に戻ったということ、個人的には簡単に、変更を受け入れられない感があります。今回の提案理由は、

「青少年」から「新世代」の十数年の間も「青少年交換」、「ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)」というプログラムを世界中で実施している。一部の国は長年にわたり非公式な奉仕部門として青少年奉仕を掲げてきた。

第五の奉仕部門に「青少年奉仕」という言葉を使うには、青少年プログラムの用語体系と一貫している。

2010年規定審議会における当初の立法案は、第五の奉仕部門の名称として「青少年奉仕」を創設するものであり、青少年プログラムの対象となるグループを具体的かつ正確に表現するものであった。

多くの国で、青少年たちは「新世代」という言葉が、曖昧で、横柄な言い方であり、受け入れがたいと感じている。多くのロータリアンは、ロータリーのイメージにとって「新世代」という言葉が悪影響を与えている。

というような内容で提案され本制定案は「国際ロータリーに大きな財務上の影響を与えることはないと思われる。」という事で採択されました。

最後の「新世代」という言葉が悪影響～とは英語の「New generation」の印象だけかもしれませんが。日本語での「新世代」が受け入れにくく、悪影響とは考えにくい事です。

「2010年規定審議会で第五の奉仕部門の名称として「青少年奉仕」を創設するものであり、青少年プログラムの対象となるグループを具体的かつ正確に表現するものであった。」であれば何故、2010年規定審議会で変更しなかったのか、疑問が残ります。

実際に標準ロータリー・クラブ定款を改定するのは各クラブになります。地区委員会として2010年規定審議会以降クラブに第五の奉仕に「新世代奉仕」を加えて、定款変更をお願いしてきましたが、再度「青少年奉仕」に名称変更を呼びかけることになります。

クラブの皆さん早めに「青少年奉仕」に名称変更をお願いいたします。

私はロータリーの永遠の課題である会員増強には、若いロータリアンを大勢獲得する必要があると考えています。そのためインターアクトや青少年交換学生、RYLAに参加した青少年、ローターアクトを経験しロータリーを理解している若者をロータリーに迎える仕組み作りをテーマに数年活動してきました。それをまだ果たせません。もう少しがんばります。



ローターアクトクラブの活動

地区ローターアクト委員会

委員長 坂井 治

(千歳セントラルR C)

ローターアクトクラブ（以下R A C）を提唱していないクラブやグループではR A Cは何をしているのかご存じない方が多いかもしれません。

そこで今年度の地区活動としてガバナーにR A Cの例会を公式訪問していただくことにしました。

その機会に、できればグループ内の各クラブのメンバーの皆さんにもオブザーバー参加していただきR A Cの活動を実際に見ていただくことによって少しでもR A Cへの理解と関心を深めていただければと考えています。

各クラブ代表的活動について

第2510地区の、現在活動しているクラブは赤平R A C、千歳R A C、函館大学R A C、岩見沢（休会中）、室蘭北R A C、札幌幌南R A Cが存在し、昨今会員数減少と言う状況で規模の大きい活動を行えていないクラブの現状もありますが、各クラブ社会人、学生、主婦と様々なメンバーの特色を生かし、また、長年継続的に渡って行っている活動や例会の中で様々な活動を各クラブ行っていますので、現在行っている代表的な活動をご紹介します。

◆赤平ローターアクトクラブ

盲導犬を育成するには大変な資金が必要で、そのための募金活動を行って盲導犬協会へ寄付しています。

◆千歳ローターアクトクラブ（千歳、恵庭、千歳セントラルセントラルの3クラブ共同提唱）

地元神社祭り後の早朝清掃、市内知的障がい者施設夏祭りスタッフボランティアを毎年続けています。また恵庭R Cの活動のお手伝いや提唱クラブの例会訪問などを続けています。

今年度のローターアクト地区代表である西村英晃君が所属しているクラブです。

◆函館大学ローターアクトクラブ

毎年S T Vの24時間テレビのチャリティー募金活動を函館市内において行っており、また、湯の川地区の海岸清掃を年に1度、市内野球場の外周の植樹活動を長年行っており、現在は4分の3まで植樹が完了しました。

◆室蘭北ローターアクトクラブ

市内海岸/川辺の清掃活動を年2～3回継続的に行っております。

◆札幌幌南ローターアクトクラブ

児童養護施設へ年2回のイベント手伝いボランティアを毎年継続的に行っております。

また、年一回他団体と一緒に浜辺へゴミ拾い活動、ロータリークラブ行事のお手伝いを行っております。

各クラブは活動を通してクラブメンバーの交流を深め、また、地元での交流、R A Cの存在アピールを行っております。徐々に会員数を増やしているクラブもあり、そういったクラブでは、記述した活動の他にも新たなメンバーからのアイデアや皆で思考錯誤考え地域貢献、社会貢献の場を広めていこうと頑張っています。

また地区R A Cとしての活動もたくさんありますが今回は7月27～28日に行われた地区交流キャンプの活動を写真で紹介いたします。キャンプ翌日には朝から周辺のゴミ拾いや交通安全キャンペーンが行われました。





「インタラクティブ研究会」報告

地区インタラクティブ委員会

委員長 山 口 史 朗
(札幌東RC)

8月2日・3日の両日に亘り開催された第2回全国インタラクティブ研究会について報告申し上げます。

昨年の第1回に引き続き、神戸で開催されました。会場は神戸国際会議場で、全国から凡そ百数十名のインタラクティブに関係するロータリアンと顧問教諭が集い、インタラクティブプログラムの現状と課題及び今後の活動のあり方についての発表・活発な討論が行われました。今回のテーマは、「つなぐ・むすぶ・行動する。はじまるインタラクティブ・ネット」です。今年、仙台育英高等学校に、日本初のインタラクティブクラブが誕生してから50年の節目の年で、次の50年に向けてのインタラクティブ・ネットワークの構築が主要な命題に位置付けられました。全国のインタラクティブターが情報を共有し、手を結び合い、インタラクティブ活動を活発に行える動きが各地に起こりつつあります。この流れを大切に、継続していくことが研究会の目的と言えます。

研究会の内容ですが、1日目は、主催者挨拶、来賓紹介、趣旨説明に続き、基調講演が行われました。講師は、作家でありロータリアンを夫に持つ、玉岡かおる氏で、「国と国との懸け橋になった先人に学ぶ 荒野に種をまいた人たち」との演題で、熱の入った講演でした。メンソレータムを日本に普及させ、建築家として神戸女学院など数々の西洋建築を残した、アメリカ人ヴォーリズと妻満喜子の生涯を通し、逆境を耐え抜き、社会が変わらないなら自分が変わる、そういう選択をして最後まで負けなかった勇敢な精神に学ぼうというスピーチでした。続いて、ワークショップのレクチャー・記念撮影のあと、7チームに分かれての分科会です。ここでは、予定された時間を超過するほど、熱心な議論が交わされました。感じたことは、どこの地区も同じような課題・悩みを抱えていること。情報交換や交流を通して、新たな可能性が見えてくること。インタラクティブを含めた「青少年奉仕」に対する将来への期待と社会的な必要性です。次は、ポスターセッションです。活動報告と、報告のヴィジュアル表現を競うコンテストを兼ねたものです。真摯な奉仕活動への取組みと、発表の工夫が会場を盛り上げました。

2日目は、7つの分科会ごとの討論内容の発表、元RI理事・黒田正宏氏の基調講演「インタラクティブの発展を願う、私達と国際ロータリーの責務」、元RI理事・神戸YMCA名誉顧問・今井鎮雄氏の講演と続きました。規定審議会の流れを踏まえ、地区・クラブ委員の責務に触れながら、世界の平和に繋がるインタラクティブの価値と重要性をアピールされました。全体を通して、さらに理解を深める貴重な機会となり、交友を広げ、情報交換及び研究の場として勉強になった、非常に有意義な2日間でした。



ポスターセッション（各IAC活動内容の見せる報告）



2日夜の懇親会風景、貴重で有益な意見交換の場



青少年交換事業について

地区青少年交換委員会

委員長 出口 修

(札幌大通公園R C)

9月は新世代月間ということで、当地区の青少年交換事業について寄稿させていただきました。

青少年交換とは海外地区との高校生の交換留学事業を言い、我が2510地区でも40年以上の歴史があります。互いの地区ガバナー同士が受け入れを保証し合うこのロータリーの青少年交換事業は、世界で最も安全で支援も厚く安上がりな留学と言えます。海外へ行く子を派遣学生、海外から来る子を受入学生と呼んでいます。現在はアメリカ・オーストラリア・カナダ・フィンランドと計6名前後の規模での交換を行っています。

新しいロータリー年度がスタートしてひと月ほど経った頃、前年度に派遣していた学生達が一年間の留学期間を終えて続々と帰って来ます。出発の時には、子供々して「大丈夫かなあ。」と思っていた子が見違えるようなしっかりした顔つきになって帰って来ます。大人になってからの留学と違って、人格形成期である高校生の留学体験での成長には目を見張るものがあります。

さて同じ時期に、上記の派遣生の交換相手としてこちらで一年間を過ごした受入学生達も帰国の途につきます。それなりにいろいろな苦勞を乗り越えて、日本語もかなり上達して、空港のゲートでたくさんの友人やホストファミリーに見送られている姿を見ると、この学生にとって良い一年間を過ごせたんだなあとホッとした気持ちになります。「帰りたくない。」と言ってくれる言葉が、受け入れに携わった関係者には最高の言葉となります。



8月に入ると、新たな派遣学生達の出発が始まります。前年の9月頃に各クラブから推薦を受けてエントリーした学生は、面接選考を経て派遣候補生となります。それから約10ヶ月の間に計8回のオリエンテーションでロータリーの基礎知識や留学の心構え、人前でのスピーチの訓練等を行います。また各ロータリー行事に参加したりして準備をしていきます。その間に、派遣先の相手地区と書類をやり取りして派遣の確認し合います。最後のひと半月ほどは、保険の加入・ビザの取得・航空券の手配等で本人と家族は大忙がしになります。

いよいよ出発した後は、本人の生活や安全を相手地区のロータリーに託す事になります。

送り出したのもつかの間、8月中旬からは受入学生が到着し始めます。この受入事業は、まず受入クラブ・受入高校そして何軒かのホストファミリーが揃って初めて成り立ちます。更に、日本語教師のボランティアの方々を始め様々な人の助けを頂いています。受入学生が、日本語を少しずつ覚えながら成長して行く姿を見守っていく楽しみもまた格別なものです。一組の交換は、足掛け3年の事業になります。これからもたくさんのロータリアンの思いに支えられ、このロータリーならではの青少年交換事業がしっかりと継続されて行くことを心から願っています。



※地区組織の変更：地区青少年交換委員長が8月10日付で有田京史委員長から出口修委員長に変更となりました。



RYLA委員会の取り組みについて

地区RYLA委員会

委員長 舩田 雅彦
(札幌幌南RC)

RYLAはRotary Youth Leadership Awardsの頭文字を取った略称です。日本語では、ロータリー青少年指導者養成プログラムと訳されていますが、Awardは、直訳すると表彰あるいは奨学金という意味がありますので、元々は新世代の若者を表彰することを目的としたプログラムだったと考えています。

RYLA参加者は、プログラムを通じて、楽しみながら友人をつくり、リーダーとしての責務と人間関係の問題について学びます。指導力や伝達力、社会の様々な仕組みを学び、ロータリアンと知り合うことができます。ロータリアンにとっても、RYLAによって将来のリーダーを育成し、未来のロータリアンとして期待することもできます。

RYLAの手引きによると、RYLAは14歳から30歳までの青少年を対象とする集中研修プログラムで、通常3日から10日間を過ごすというようなが紹介されていますが、主催者側の考えである程度自由にプログラムを構成することができますので、昨年のRYLAは地区大会の並行プログラムとして実施いたしましたが、時間の制約や準備期間の不足など、RYLA本来の目的に合う内容だったのか、責任者としても反省すべき点があると考えています。

そこで、今年度は、RYLA本来の目的である、若いリーダー候補者に多様な学びの機会を与えるプログラムを提供するために、RYLA委員会としても周到に準備する計画で、開催予定の2014年4月までは、毎月委員会を開催して準備を進めていくことが決まっています。

当地区の今年度のRYLAは、2014年4月19日(土)・20日(日)の両日、1泊2日の予定で、札幌市中央区南22条西7丁目所在のNTT北海道セミナーセンターにおいて開催することを今年度第1回の委員会で決定し、現在は委員会内でプログラムの内容を検討しているところです。

RYLAは、国際ロータリーが提唱している新世代奉仕プログラムの一つです。ロータリーの新世代奉仕プログラムは、ほかに青少年交換、ローターアクト、インターアクトがありますが、いずれもクラブ内に担当委員会を組織して対応する必要があるなど、それなりの人的・物的負担の伴うものです。



それに比べて、RYLAは各クラブが地域の若者の中から将来のリーダーにふさわしいと思われる人材を推薦してセミナーに参加させることで新世代奉仕プログラムに参加することができます。推薦される参加者はロータリアンの子弟でも構いませんし、地区内の企業や大学などで実際にリーダーシップを発揮して活躍している人材でも構いません。

RYLAに参加する新世代の参加費用は、参加者を推薦する提唱ロータリークラブに支払っていただく必要がありますが、登録料は1人2万円程度を予定していますので、経済的にも大きな負担ではなく、参加者の体験を卓話などでクラブにフィードバックし、継続的に参加者と接触しながら将来のロータリアンに育成するなどの効果も期待できます。

RYLAは、地区内の多くのロータリークラブに新世代のリーダー候補に目を向ける機会を提供するものでもありますので、皆様のご理解とご協力を是非ともお願いいたします。



国際ロータリー第2510地区2013-2014年度 地区会員増強セミナー報告

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 山 田

誠
(江別RC)

国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度の地区会員増強セミナーが、7月21日(日)、晴天の中江別市文京台の札幌学院大学にて開催されました。今年度の増強セミナーには、参議院議員選挙投票日にもかかわらず、地区役員・地区ガバナー補佐・地区幹事26名、クラブ会長・幹事及び増強委員会関係者130数名の総勢160名あまりの参加があり大変盛会裏に終える事が出来ました。午後1時より登録受付開始、午後1時30分より八島壯之地区代表幹事の司会のもと、安孫子建雄ガバナーから開会にあたっての挨拶、札幌学院大学鶴丸学長よりのご挨拶、八島地区代表幹事より地区役員を紹介が行われ、続いて細川好弘地区会員増強委員長(PG)より地区会員増強の現況報告がなされました。



この後、塚原房樹地区研修委員(PG)より、本日の講演の講師である元国際ロータリー会員維持増強委員会委員第2750地区パスト・ガバナー 市川伊三夫氏(東京銀座RC)の紹介がなされ、午後1時50分より「人生は感動を求める旅～よき友を増やす秘伝」というテーマで講演が行われました。

この中で「ロータリーの前途は多難である。世界もそうだがとりわけ日本はその活性化を達成するには多くの難題を抱えている。誰かが直さねばならぬ。直す人にとっては第一の敵は仲間、友、先輩・後輩になる。本人にとってはそれは寂しさの極限といえる。正に“この寂しさに君は耐えうるや”だ。でも私達は立ち上がらなければならない。誰に頼むのではなく、先ず第一に自分が立ち上がるべきである。“独立自尊”とは正にこのことを言う。真に人の先頭に立とうと思ったら、自らが少数意見であることを覚悟し、その為に起こるアンシャン・レジームの抵抗、いわれなき誹謗・皮肉に些かもたじろいではない。しかし、いつもの仲好しの抵抗・不満ほど寂しいものはない。でも心配しない方がよい。改革が成功すればいつもの仲好しは

知らぬ間に何食わぬ顔して君のそばにもどってくる。さあ皆さん、いざ往かん!」。これらの力強い言葉を残した素晴らしい講演でした(筆者感)。

この後、細川好弘パスト・ガバナーより、まとめと言う事でお話があり、引き続き規定審議会地区代表議員である遠藤秀雄パスト・ガバナーより、2013年規定審議会についてスライドを見ながらその模様内容などのお話がなされました。終わりにあたり、羽部大仁ガバナーエレクトより謝辞、嵯峨義輝ガバナーノミニーによる閉会の辞にて盛会のうちに会員増強セミナーを終えました。



2015-16 年度会長にラビンドラン氏



コロombo・ロータリークラブ（スリランカ）の会員、K. R. “ラビ” ラビンドラン氏が、指名委員会により2015-16年度国際ロータリー会長に選出されました。10月1日までに対抗候補者が出ない限り、ラビンドラン氏が会長ノミニーとなります。

会員増強がロータリーにおける最優先課題であると考えラビンドラン氏は、「会員増強を図る上で、今後も若い世代を重視するとともに、経験豊富な退職者にも入会してもらわなくてはなりません。一つの方法で、世界中の会員問題に対処することはできないという認識に立ち、地域別の会員増強計画を立てたのは適切であると思います」と述べています。

ラビンドラン氏はさらに、「アルバート・アインシュタインが『同じことを繰り返しながら、違う結果を望むことを、狂気という』と言ったように、ロータリーの従来の方法は、良い結果を生みませんでした。今回の地域別会員増強計画で、世界が22の地域に分けられ、それぞれの地域にあった計画が実行されていることをうれしく思っています」と述べました。

「ロータリーが与えてきたインパクトを人々に理解してもらえるよう、ロータリアンが、特にソーシャルメディアを通じて、一貫性のあるかたちで、ロータリー・ストーリーを伝えていかなければなりません」と、ラビンドラン氏。「私たちのアイデンティティは、シンプルで、ロータリーの中核となる価値観に基づいたものであり、しかも、ロータリアン以外にも分かりやすいものでなければならないと思います」

商学の学位を持つラビンドラン氏は、ティーバッグの製造で世界をリードする上場企業、Printcare PLCの創始者・CEO（最高経営責任者）であり、そのほかいくつかの企業や慈善信託基金の理事会メンバーを務めているほか、スリランカ最大の麻薬防止団体である Sri Lanka Anti Narcotics Association の創立会長です。

スリランカのポリオ・プラス委員長でもあるラビンドラン氏はさらに、同国政府関係者、ユニセフ、ロータリーのメンバーから成るタスクフォースの委員長としてユニセフと協力し、同国北部を領域とする武装組織から、全国予防接種デー（NDA）中の一時停戦の約束を取り付けた実績があります。

1974年にロータリーに入会したラビンドラン氏は、これまで、国際ロータリーの理事および財務長、ロータリー財団管理委員を務めたほか、国際協議会のディスカッションリーダー、地区ガバナー、規定審議会代表議員、ゾーン研究会委員長を歴任しました。また、スリランカで津波によって破壊された25校を再建する、ロータリー地区およびクラブのプロジェクトの委員長として、15,000人の生徒たちの支援に貢献しました。ロータリー財団功労表彰状、財団特別功労賞、ポリオのない世界を目指す奉仕賞の受賞者でもあります。

バナシー夫人との間には、2人のお子さんがいらっしゃり、ご夫妻は共に、財団のメジャードナー（レベル4）です。

記事：Arnold R. Grahl

ロータリー・ニュース：2013年8月6日

追悼

石垣博美パスト・ガバナーご逝去

2013年7月6日ご逝去（享年90歳）



[ロータリー歴]

1970年1月 札幌西ロータリークラブ入会
 1982年7月～1984年6月 地区財団奨学生並びに学友委員長
 1983年12月～1984年6月 クラブ会長
 1985年7月～1987年6月 地区財団奨学生並びに学友委員長
 1988年7月～1992年6月 地区GSE委員長
 1990年4月～1990年5月 地区GSE団長
 1994年7月～1995年6月 クラブ会長
 1997年7月～1998年6月 地区ガバナー
 1999年7月～2000年6月 地区オン・ツー・ブエノスアイレス委員長
 2001年7月～2002年6月 地区ガバナー指名委員長
 2002年7月 札幌セントラルロータリークラブ移籍

[表彰関係]

ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 米山記念奨学会 米山功労者

石垣博美パスト・ガバナーの死を悼む

パスト・ガバナー 矢橋 温郎(札幌西RC)

7月6日石垣パスト・ガバナーがご逝去されました。

先生は100%私を信頼して地区代表幹事をお任せ下さいました。

然し乍私はその任を果たせなく先生の年度中混乱を招いた事に対して、ここに心からお詫び申し上げますと共に私を全面的にご支援下さいました当時のパスト・ガバナーの皆様方に心から感謝の意を表します。

然し乍その当時のパスト・ガバナーも僅かになりましたし、札幌西ロータリークラブの当時の事を知っている会員も僅かになりました。当時のスタッフは1人も残っておりません。

石垣ガバナー・エレクトはアメリカでの国際協議会に出席するにあたり「私は英語は99%解るから日本人のグループではなく英語圏のグループに入れて頂くように国際ロータリーに交渉しろ」と云われました。私はその旨、国際ロータリーの方に申し入れましたが、確かに英語は99%解るかも知れないが日本語は100%解るだろうからとそれはお断りを受けました。

ガバナー事務所も今のように固定しておりませんでしたので事務所も探さなければなりませんが、家賃が高くても良い所が見つかりませんので、私の会社の隣に私が持っていた家が有りましたのでそれをご使用頂きました。

その年は故竹山パスト・ガバナーがR I 理事に就任される時なのでロータリー研究会が札幌パークホテルを5日間全館貸し切って行なわれました。実行委員長は故西條正博パスト・ガバナーで、事務局を担当したので今ガバナー事務所で事務局を担当している佐藤さんでした。

それに石垣先生は肺結核になられて長期間も入院されました。直前ガバナーの小樽ロータリークラブの野口信夫さんは東京に転居されておりますし、ガバナーは入院しておられるので、私はその前のガバナーである故西條さんの教を請うために毎週札幌クラブの例会に出席して教えて頂きました。

一番困ったのは地区大会にガバナー不在という事でした。先生はどうしても出ると言われるのですが医師の先生は皆の前でスピーチをするのは駄目だと云われます。野口直前ガバナーは代理をするのかどうか早く決めてくれと云われますが予定が立ちません。やっと出席出来るのが3日前です。

それに地区大会はキタラでやると先生は云われますが、途中で音楽を入れる約束でやっと一寸の時間だけ使わせて頂きました。後は札幌パークホテルを使用しました。R I 会長代理歓迎晩餐会も半分着席、半分立食というような変則的な事になりました。本当に変な地区大会になりました。

サハリンにロータリークラブを作る話も出ました。アラスカから日系二世、スチーブ吉田パスト・ガバナーが来られて札幌のクラブにスポンサーになってサハリンにロータリークラブを作ろうと云って来ました。先生は乗り気で、サハリンから会長予定者等数人を地区大会に招待したところ金が無くて行けないというのでこちらの地区で全額出す事でサハリンにロータリークラブが出来ました。今では子クラブも出来て盛大にやっております。

その年ロータリー研究会の折には石垣ガバナーと全国のガバナーが集まりますので同期会を札幌でやるという事で本当に多忙な年に先生は病気になられたので、奥様にも相当ご迷惑をお掛けしました。

エルム山荘での同期会も奥様のご発案で大変好評でした。

そんな事で公式訪問も大分実施しなかった所もあったかと思えます。第2510地区の皆様にも大変ご迷惑をお掛けしました。

私も皆様から責められてその年の6月30日を以ってロータリーを退会する事にしました。

この時私は先生に相談する事もなく辞めた事を申し訳なく、今でもお詫びをしなければと思いながら今日までお詫びもしておりません。今ここで先生とお別れするにあたり残務整理もしないまま辞めた事を心からお詫び申し上げます。

従ってこの年の記録は現在も何も残っておりません。奥様からもガバナー就任の時にくれぐれも主人を宜しくと云われておりましたのに本当に申し訳ございませんでした。

先生は無理な事も云われました。

「ゴールデンホイール」というロータリーの本があるのですが、これはロータリーを批判した本なのですが、先生はこの本は日本には2冊しかない、1冊は故竹山R I 理事、もう1冊は尼崎の田中毅パスト・ガバナーの2人しか持っていないが私に貸してくれないので、お前が行って借りて来いと云われました。お二人とも反対でしたが何とか借り出しました。

そうしたら今度は「俺は目が見えないのでお前が訳せ」と云われますので、私は英語は苦手なのでと云って断りましたら、札幌セントラルロータリークラブの皆様で手分けして翻訳する事になりましたが、何分にも何百頁かの本ですので現在は札幌大通公園ロータリークラブも共同で翻訳しているようです。

また、昨年先生の卒寿のお祝いにお招きを頂きましたが、先生の奥様がおられない時、毎晩のように行っている汚い所だけと言われ、行ってみると立派なレストランでした。先生は毎晩美味しいものを召し上がっていたのですね。

先生が移籍された札幌セントラルロータリークラブも少人数ながら頑張っております。必ずや先生の理想のクラブに成長すると思えます。どうかご安心下さい。

尚、先生が愛して止まなかったネコは奥様もネコ好きなのでご安心してお眠り下さい。

公式訪問報告

江別西ロータリークラブ

7月9日 (火)

安孫子ガバナー、大竹ガバナー補佐を江別市民会館にお迎えして10時から会長・幹事・会長エレクトと懇談会が行われ、ガバナーからクラブ会員が常に会員増強を意識し退会者を極力防ぎ新会員が満足する継続可能な行動をとる。CLP中心にクラブ運営を計り、濃く深い目線を達成するようクラブ全員が積極的に行動する。未来の夢計画推進委員会を新しく設置する等、穏やかに熱意ある御指導をいただきました。

11時から理事役員とクラブ協議会を開催し、クラブ管理運営・会員増強・広報・奉仕プロジェクト・ロータリー財団の各委員会から今年度の活動方針と活動計画を報告させていただきました。12時30分からガバナー公式訪問例会を開催し、ガバナーから今年度R Iテーマを細分化した説明があり、ポルトガルの世界大会、国際協議会の画面を見ながら、クラブ会員が世界に通じるロータリアンになるよう努力をする必要性を力説されました。今年度の地区目標の発表と各クラブが交流を深める依頼がありました。最後に記念撮影をし閉会となりましたがCLP運営のヒントを授かり、有意義な時間が共有できた事を江別西ロータリークラブ会員一同感謝申し上げます。



栗沢ロータリークラブ

7月10日 (水)

平成25年7月10日(水)安孫子ガバナーが佐々木地区幹事と共に、午前9時40分頃栗沢クラブを訪問してくださいました。ほぼ同時刻に大竹ガバナー補佐と高田ガバナー補佐幹事が到着なさいました。

午前10時より、当クラブ鈴木会長、西村副会長、中村幹事との懇談になり、会長より当クラブの現状報告を致しました。特に重点としては会員の増強と平成26年5月17日に開催が決定されます創立50周年記念式典であります。

午前11時より、場所を変えてクラブ協議会へ出席下さいました。各委員長より年間活動方針と活動計画を報告し、その後、安孫子ガバナーよりご意見、ご指導を受けました。

午後12時10分より、クラブ例会にご出席いただき、クラブ会員全員と昼食を共にされ、本日の例会プログラムをガバナー公式訪問卓話として30分間のお話がありました。最後に参加者全員で写真を撮り、このたびの公式訪問が無事に終了いたしました。



美唄ロータリークラブ

7月11日 (木)

会長・幹事懇談会はガバナーが第3グループのガバナー補佐経験者の事もあり、双方共周知の間柄さらにガバナー補佐が当クラブの会員であることも重なった為、終始和気あいの懇談会となりました。

クラブ協議会は打って変わって緊張感の漂うなかでの会合となりました。

最初に宝崎会長が来訪者の紹介し、安孫子ガバナーにご挨拶を頂きその後各常任委員長に年間の活動計画の説明を短時間の中での説明となりました。最後にガバナーに所感を頂き宝崎会長がまとめて無事時間内に終了。

別室の写真室において集合写真の撮影(経費削減の為、会員の一瞬レフにて撮影、現像)無事終了後、急いで例会場に集合。普段は例会開始前からお酒を飲んでいましたが、当日はガバナーのご挨拶が済むまで自粛、その後は大いに盛り上がった夜間例会になり、普段より30分延長され宝崎会長の点鐘でやっと終了。ガバナー、佐々木地区幹事をお見送りして無事公式訪問を終了しました。



赤平ロータリークラブ**7月16日 (火)**

7月16日(火)、9時35分公式会場である「交流センターみらい」に安孫子建雄ガバナーをお迎えし1階の研修室で10時からの会長・幹事懇談会を行いました。安孫子ガバナー、竹田俊一ガバナー補佐、佐々木光治地区幹事、会長、幹事により和やかな雰囲気の中竹俣会長の司会で当クラブの特徴、クラブの運営について説明がなされ、特に小クラブでありながら今年創立39年のローターアクトクラブがあり、12月に赤平の障害児童を招いてクリスマスお楽しみ会をして、社会奉仕事業をしており、その運営にもアクトに協力してもらい、総勢110名の事業になっている事などを報告し、それについてのアドバイスを頂きながら引き続き11時から3階にてクラブ協議会で各担当委員長から、本年度の方針と事業報告と疑問点なども出され、最後に安孫子ガバナーの懇切丁寧な説明があり総評が終了しました。12時半から公式訪問例会が4階の公式会場で開催され、メインのプログラムは安孫子ガバナーのパワーポイントによる卓話を頂き、ロン・バートンR I会長の方針、事業等について詳しく画面を見ながら解説いただき有意義な公式訪問となったこと心より感謝申し上げます。

**砂川ロータリークラブ****7月17日 (水)**

7月17日(水)、安孫子ガバナー、竹田ガバナー補佐、佐々木地区幹事をお迎えし、公式訪問が行われました。午前10時の会長・幹事懇談会では会長より役員紹介、砂川クラブの特徴、主なる事業の取り組み等を示し、ガバナーより各事業、出席率などに関してのご意見を頂き、また、地区補助金についてのお話を伺いました。11時からのクラブ協議会は理事・役員・委員長出席のもと、職業奉仕、社会奉仕、新世代奉仕、国際奉仕、会員増強の活動計画を発表され、ガバナーからは適切なアドバイスを頂きました。12時30分からの公式訪問例会は会員の起立でガバナーをお迎えして始まり「花は咲く」をBGMにしての食事を終了後、パワーポイントを使用してのガバナー卓話がおこなわれました。5カ所目の公式訪問になりますが、毎回、同じ内容ではないというお話から始まり、国際協議会報告、地区運営方針、R I戦略計画、地区補助金の交付状況、リスボン国際大会等々、沢山の有意義な卓話を頂き例会を終了いたしました。

**滝川ロータリークラブ****7月18日 (木)**

爽やかに澄み切った青空のもと、ホテルスエヒロに安孫子ガバナーと竹田ガバナー補佐をお迎えし、午前9時50分から会長・幹事懇談会、11時からクラブ協議会、そして12時30分から公式訪問例会を開催しました。

滝川RCは、昨年度の総会においてクラブ細則を変更してCLP導入を決議し、今年度はその移行1年目となります。懇談会では、中垣会長からその点についての説明と、クラブの現状と問題点についての報告がなされ、安孫子ガバナーからは、研修リーダー育成の必要性や、クラブ運営の見直しの重要性などについて、アドバイスをいただきました。

クラブ協議会では、新入会員3名も出席して緊張感あふれる中、各委員長から今年度の活動計画を発表いたしました。

例会では、パワーポイントを使用して公式訪問の意義を説かれ、安孫子ガバナーのロータリーに対する熱き思いが随所に感じられたひと時となりました。



長沼ロータリークラブ**7月22日 (月)**

ついにその日はやって来ました。

年度が変わったことを実感する最初のクラブ行事。年が変わればガバナーも変わりカラーも変わる。今年のカバナーはどういう人だろう、どういう方向性を指し示すだろう、と何度経験しても毎年新鮮な緊張感に襲われます。地区ホームページの安孫子ガバナーは一見神経質っぽく気難しい印象、これは何か言われるぞと構えていたのは杞憂でした。気さくで物分かりの良いお人柄に一同肩の力が抜けました。

会長・幹事懇談会で前以てクラブの概要を説明した上でクラブ協議会に入り各委員会の今年度の方針・計画を報告して最後に総評を頂きました。「小さいながらも地域を巻き込んで国際的な活動をしている」とお褒めの言葉を頂き、各部門がバランスの取れた協調できる活動をしていくことの大切さを付け加えられ、さらにR Iと財団の立場、各国クラブの現況、クラブ活動の見直し、CLPの取り組み、出席の考え方、全員参加のプログラムの充実、地域を限定しない職場訪問、財団の仕組み、米山の役割等幅広く詳細に解説されました。

その後丑の日に因んで鰻を塗した松花堂弁当に舌鼓しながら通常例会にご出席頂き終始和やかな雰囲気です有意義な一日でありました。

**千歳セントラルロータリークラブ****7月23日 (火)**

7月23日(火)、安孫子建雄ガバナー、大川健一ガバナー補佐をお迎えし午前10時より会長、幹事、会長エレクト懇談会を行いました。映像により当クラブ創立からの活動内容を紹介し各種事業、CLPを導入したクラブ運営について評価をいただきました。また、今年度の中心事業である社会奉仕活動「宮城県岩沼市“千年希望の丘”体験ツアー」事業についてご説明申し上げました。3箇年にわたり支援方法を変えて継続している当クラブの東日本大震災支援事業についてご理解をいただきました。

また、新千歳空港設置の募金箱管理事業について、空港にお立ち寄りになった多くの方にご協力いただけるようお願いしご理解をいただきました。午前11時より行われたクラブ協議会では、各理事より活動計画を発表いたしました。安孫子ガバナーからはクラブ運営についてご教示がありました。その後の例会は、安孫子ガバナー自ら会員を迎えてくださり温かな雰囲気での開会となりました。今年度の目標についてご説明があり、リスボンで行われた国際大会の様子もプロジェクターを使用して、ユーモアを織り交ぜ報告して下さいました。最後は会員一同整列してお見送りをさせていただきました。安孫子ガバナー、大川ガバナー補佐にはご指導ご鞭撻をいただき誠に有難うございました。今後は目標の達成に向け更に努力してまいりたいと思います。終始和やかな雰囲気です終了することが出来ましたこと会員一同、心より感謝申し上げます。

**恵庭ロータリークラブ・由仁ロータリークラブ・北広島ロータリークラブ****7月24日 (水)**

7月24日、恵庭RC・由仁RC・北広島RCの3クラブ合同で、安孫子建雄ガバナー、大川健一ガバナー補佐、佐々木光治地区幹事を迎えてのガバナー公式訪問が実施されました。

10時から予定されていた会長・幹事懇談会は、急遽9時30分から開催され、各クラブの会長から今年度の方針等が示されました。これを受けて、安孫子ガバナーより、他クラブとの交流の重要性や継続事業の在り方、地区の委員会とクラブの関係について、さまざまなアドバイスをいただきました。

11時から、クラブ協議会。こちら3クラブ合同ということで、駆け足で進んでいきました。ここでは、普段聞くことが



ない他クラブの活動状況等を耳にすることができ、大変参考になりました。安孫子ガバナーからは、ロータリーに関する情報・研修の重要性が指摘され、これからの地区とクラブの課題が示されました。

その後、12時30分より、安孫子ガバナーらが3クラブの会員を出迎えて開始された例会が開催されました。例会は、恵庭ロータリークラブが担当いたしました。例会では、クラブの垣根を越えた会員間の交流が実現できました。非常に有意義なガバナー公式訪問となりました。

千歳ロータリークラブ

7月25日 (木)

千歳ロータリークラブ(川端清会長)は7月25日、安孫子建雄ガバナーと第7グループの大川健一ガバナー補佐をお迎えしました。会長・幹事・エレクト懇談会に入る前に川端会長の車にガバナー、ガバナー補佐と大澤雅松幹事、藤本敏廣会長エレクトの5人が乗り込み、千歳市内中心部で千歳RCが行った環境保全・緑化活動の一端を現地で見させていただきました。

懇談会、クラブ協議会では、千歳RCの特色と課題を川端会長が説明。植樹から80年計画の分収造林「千歳ロータリーの森林(もり)」など長期事業や環境保全への取り組み、昨年度の創立45周年を経て人材育成につなげる委員会構成とし、幅広い職種、年代の会員が例会運営や奉仕プロジェクトに取り組んでいると述べました。

例会では新入会員2名に安孫子ガバナーがロータリーバッジを着ける入会式も。安孫子ガバナーは「RIは各クラブが会員であり、クラブが活動の単位だと実感した」と語り、一緒にロータリーライフを続けていく仲間という立場を強調しました。



河畔公園で昨年植えた桜の木をバックに「四つのテスト」石碑前で

小樽南ロータリークラブ

7月26日 (金)

7月26日(金)、安孫子ガバナー、舛井ガバナー補佐、佐々木地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

当日は、午前10時から吹越会長、山村幹事と懇談、その後11時から当クラブ協議会に出席いただき、各委員長から今年度活動方針、活動内容等について安孫子ガバナーへ報告を行いました。

安孫子ガバナーから各委員会への総括と質疑があり、示唆に富んだ助言をいただきました。

12時30分からの例会では、第2510地区のテーマを踏まえた強調事項、行動指針等について、そしてアメリカでのガバナー研修会について、貴重な卓話をいただき、行き届かない点が多々あったとは思いますが、無事公式訪問を終了いたしました。



函館亀田ロータリークラブ

7月29日 (月)

7月29日(月)安孫子ガバナー、石山ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催しました。

午前10時から、会長、幹事、会長エレクトと安孫子ガバナー、石山ガバナー補佐との懇談会が行われ、函館亀田ロータリークラブの特徴を私のほうから、説明させていただき、更には、国際奉仕委員会での留学生を招いた、餅つき、そば打ち体験の新聞記事をご覧くださいました。

11時からクラブ協議会を開催し、各委員長より、今年度の活動計画を説明し、安孫子ガバナーから講評を頂戴しました。

記念撮影の後、例会にて当日入会の新入会員へのロータリーバッジの授与を安孫子ガバナーより行って戴



き、新入会員にとっても、貴重な体験だったものと感謝しております。

有意義な時間を頂戴した事を感謝申し上げます。

長万部ロータリークラブ

7月29日 (月)

安孫子ガバナーと石山ガバナー補佐をお迎えして7月29日ガバナー公式訪問が行われました。

午後4時より会長・幹事懇談会が行われ当クラブの会員数10名のミニクラブの現況を説明し、ガバナーからは規定審議会からの出席に関する件について、丁寧に説明されました。

4時30分から長万部町長への表敬訪問もしていただき、5時から各委員長を中心としたクラブ協議会を行いました。

例会ではプロジェクターを利用してのRIの様子、今年度の方針が良く理解できました。当クラブも純増1名目標達成にむけ邁進して行きたいと思います。

又食事中に震災復興のテーマソング「花はさく」のメロディーを聞きながら、名物のかに料理を食べ楽しい会食を終え有意義なクラブ訪問であったと会員一同感謝致します。

10月の地区大会でお会いするのを楽しみにしています。



江差ロータリークラブ

7月30日 (火)

7月30日に安孫子ガバナー、今井ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。当日は午前10時より会長・幹事懇談会が行われ、半澤会長から当クラブの事業報告や今後の計画について説明いたしました。又、安孫子ガバナーからは小規模クラブであることをご考慮いただいた上で、会員増強の進め方や他クラブとの合同事業も考慮されてはとの御意見をいただきました。

その後当クラブの理事3名も加わりクラブ協議会が行われ、2003年に町民と一緒に行われた社会奉仕事業「“今” 親として子として」のパネルディスカッションや毎年行っている職業奉仕事業「匠の技で、職業を通じて地域に貢献されている方への表彰」について、高く評価していただきました。

12時からの例会では、国際協議会のスライド等を見ながら、ロータリーの運営方針等について、丁寧に聞かせいただきました。

例会終了後には江差町に表敬訪問していただき、江差町長と和やかな雰囲気の中で、20分ほど懇談いただき、公式訪問を有意義に終了する事ができました。

安孫子ガバナーには当クラブに訪問いただき、心から感謝申し上げます。



函館セントラルロータリークラブ

7月30日 (火)

7月30日(火)、安孫子ガバナー、石山ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が開催されました。16時より行われました会長・幹事懇談会では、クラブの現状やガバナーの方針について等、ご意見を戴き、和やかで、かつ貴重な時間を過ごしました。17時からクラブ協議会を行い、五大奉仕をはじめ各委員長より今年度の活動計画の発表があり、安孫子ガバナーより好評を戴き終了しました。その後、18時15分に記念写真を撮り、引き続き18時30分から行われた例会で安孫子ガバナーより卓話を戴きました。国際協議会にガバナーが出席された際の今年度のテーマである「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」についてのお話など、若い会員の多いクラブにとって、とても有意義な時間となりました。そして、19時15分に懇親会を開き、安孫子ガバナーにゲームなどを楽しんで戴き終了致しました。安孫子ガバナーにはご指導を戴きありがとうございました。



2016-2017年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 安孫子 建 雄
地区ガバナー指名委員長 佐々木 正 丞

2016-2017年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

第47回「おたる潮まつり ねりこみ」参加

7月27日(土)、小樽で最大のまつりである、今年で47回目を数える「おたる潮まつり」のメインイベントであり、82梯団6千人を超える市民参加者が、市内のスタート地点から港の会場ステージまでの1.8キロのメインストリートに90分程かけてねりこむ「おたる潮まつり ねりこみ」。

小樽ロータリークラブ創立80周年記念事業のひとつとして、「ロータリーをもっと知ってもらふこと」と「会員の親睦と和」を目的に、小樽南・小樽銭函ロータリークラブとの3クラブ合同でロータリークラブ梯団として初参加致しました。

当日は創立80周年記念事業ということで、公式訪問中の大変お忙しい中でのお願いをした安孫子建雄ガバナーにも参加して戴き、舩井第6グループ・ガバナー補佐や3クラブ会長、それぞれのクラブの最高齢メンバー、米山学友会の方々をはじめ総勢100名の梯団で、踊りはバラバラでしたがロータリーマークの入った法被を着ての踊りは大変な盛り上がりで、楽しく完走することができました。

安孫子ガバナーをはじめ参加されたメンバーの皆様にご心から感謝申し上げます。



訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに 心からご冥福をお祈り申し上げます

**高山 富雄** 会員 (岩見沢RC)

2013年8月10日逝去 (享年77歳)

【ロータリー歴】

1977年6月 入会
 1980～1981年度 幹事
 1988～1989年度 副会長
 1989～1990年度 会長エレクト
 1990～1991年度 第37代 会長

【表彰関係】

35年100%出席
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (1)
 米山功労者マルチプル (2)

**笹山 峻弘** 会員 (札幌ロータリーRC)

2013年8月15日ご逝去 (享年68歳)

【ロータリー歴】

2004年1月7日 入会
 2011～2012年度 副会長

【表彰関係】

2008～09年度地区大会ガバナー表彰



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演他より

書名	著者/出版社	発行年	頁
「ロータリーの奉仕と平和」(D. 2790地区大会記念誌)	朴柱寅	2012	9P
「国際ロータリー長期計画について」 (『ロータリーの友』と共に)	南園義一	2013	7P
「国際ロータリー 2013年規定審議会提出立法案採決結果一覧表」(国際ロータリー 2013年規定審議会報告書)	加藤玄静	2013	13P
「会員増強をうながす職業奉仕」 (2680地区研修セミナー講演集)	田中 毅	2013	11P
「国際情勢とロータリーの役割」(D. 2560地区大会記録)	羽賀友信	2013	2P
「ロータリーは宗教か」(D. 2720月信)	進 保政	2013	2P
「初期ロータリー外史」(D. 2550月信)	鈴木 宏	2013	12P
「『素晴らしいロータリーへの再生』のために『クラブの活性化』を」(D. 2730月信)	山下皓三	2013	3P
「再びロータリーとは」(D. 2680月信)	石丸鐵太郎	2013	2P
[上記申込先：ロータリー文庫]			
「DVD/国際ロータリーの進化とその原点～家庭集会(炉辺会合)の一助に」	講師：重田政信 高崎北RC	2013	

[申込先：高崎北RC TEL (027) 330-6060]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
 開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

新 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



室蘭北R C
永野 泰男
入会日 7月1日
職業分類 セメント輸送



室蘭北R C
佐藤 隆夫
入会日 7月1日
職業分類 築炉建設



室蘭北R C
土井 伸
入会日 7月1日
職業分類 行政書士



長万部R C
村永 誠一
入会日 7月1日
職業分類 外科医



小樽R C
荒木 博昭
入会日 7月2日
職業分類 建設業



小樽R C
久末 智章
入会日 7月2日
職業分類 硝子配布



小樽R C
市川 英明
入会日 7月2日
職業分類 洗濯業



小樽R C
高橋 英明
入会日 7月2日
職業分類 経営コンサルタント



札幌モーニングR C
石川 信博
入会日 7月3日
職業分類 営業相談



滝川R C
浜岸 春尋
入会日 7月4日
職業分類 金融業



滝川R C
本間 保昭
入会日 7月4日
職業分類 ホテル業



滝川R C
山本 康文
入会日 7月4日
職業分類 飲食業



滝川R C
芳村 元悟
入会日 7月4日
職業分類 宗教



札幌大通公園R C
出口 修
入会日 7月11日
職業分類 福祉・介護業



岩見沢R C
西森 諭
入会日 7月18日
職業分類 電信・電話業



千歳R C
粟津 義幸
入会日 7月25日
職業分類 不動産管理



千歳R C
喜多 康裕
入会日 7月25日
職業分類 スポーツ用品



千歳R C
稲川 和伸
入会日 8月1日
職業分類 農園経営



岩見沢R C
西野 太郎
入会日 8月1日
職業分類 普通銀行

地区カレンダー

9~10月

9月 新世代のための月間	
1(日)	
2(月)	公式訪問(三石RC)
3(火)	~4(水) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー (東京) 公式訪問(浦河RC、様似RC)
4(水)	公式訪問(静内RC)
5(木)	公式訪問(えりもRC) 2014-15年度地区研修リーダーセミナー(東京)
6(金)	
7(土)	
8(日)	米山奨学生研修旅行(旭川)
9(月)	公式訪問(洞爺湖RC)
10(火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
11(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC)
12(木)	公式訪問(室蘭RC)
13(金)	
14(土)	
15(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
16(月)	敬老の日
17(火)	公式訪問(当別RC)
18(水)	公式訪問(札幌真駒内RC)
19(木)	公式訪問(小樽銭函RC)
20(金)	
21(土)	
22(日)	
23(月)	秋分の日
24(火)	
25(水)	公式訪問(新札幌RC)
26(木)	
27(金)	
28(土)	
29(日)	
30(月)	公式訪問(栗山RC)

10月 職業奉仕月間・米山月間	
1(火)	公式訪問(札幌はまなすRC)
2(水)	公式訪問(札幌モーニングRC)
3(木)	公式訪問(芦別RC)
4(金)	
5(土)	小樽RC創立80周年記念式典(小樽)
6(日)	
7(月)	
8(火)	
9(水)	
10(木)	
11(金)	
12(土)	~13(土)北海道ロータリーアクト交流会 (赤平)
13(日)	
14(月)	
15(火)	
16(水)	
17(木)	
18(金)	2013-14年度地区大会記念ゴルフ大会 (北広島)
19(土)	~20(土)日韓親善会議(韓国・ソウル) 2013-14年度地区大会(札幌)
20(日)	2013-14年度地区大会(江別)
21(月)	
22(火)	
23(水)	
24(木)	公式訪問(岩内RC)
25(金)	
26(土)	函館北RC創立50周年記念式典(函館)
27(日)	
28(月)	公式訪問(蘭越RC)
29(火)	公式訪問(小樽RC)
30(水)	公式訪問(倶知安RC、余市RC)
31(木)	

2013年9月のロータリーレート 1ドル100円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2013.7.1	2013.7.31	増減	内女性	
1	深川	4	32	33	1	2	88.52
	羽幌	4	45	47	2	2	75.53
	妹背牛	4	10	12	2	0	83.33
	留萌	4	39	39	0	3	91.12
	小計		126	131	5	7	84.63
2	赤平	5	30	30	0	0	79.50
	芦別	4	36	39	3	2	71.62
	砂川	5	44	44	0	0	99.06
	滝川	4	80	84	4	2	79.00
	小計		190	197	7	4	82.30
3	美唄	4	28	31	3	0	88.87
	江別	4	35	35	0	1	84.29
	江別西	5	26	26	0	4	93.10
	岩見沢	4	76	77	1	0	87.31
	岩見沢東	5	22	22	0	2	82.47
	栗沢	5	23	23	0	1	99.04
	栗山	4	23	23	0	3	98.91
	当別	4	28	28	0	1	90.87
	小計		261	265	4	12	90.61
4	札幌	5	115	121	6	0	99.47
	札幌はまなす	5	13	13	0	2	85.36
	札幌北	4	33	33	0	4	92.50
	札幌モーニング	5	47	48	1	0	72.36
	札幌西	4	52	52	0	6	89.21
	札幌西北	4	32	33	1	3	85.40
	札幌手稲	4	32	32	0	3	90.24
	小計		324	332	8	18	87.79
5	札幌東	4	117	118	1	0	98.39
	札幌清田	5	19	19	0	5	100.00
	札幌幌南	4	52	57	5	2	100.00
	札幌真駒内	5	20	20	0	3	100.00
	札幌南	4	80	80	0	0	99.38
	札幌大通公園	4	14	15	1	1	67.73
	札幌セントラル	5	6	5	-1	2	92.00
6	新札幌	5	23	24	1	3	88.33
	小計		331	338	7	16	93.23
	岩内	3	20	20	0	1	84.65
	倶知安	5	37	41	4	6	78.00
	小樽	4	69	73	4	0	92.00
	小樽南	4	69	69	0	2	90.08
	小樽銭函	4	21	21	0	2	88.20
	蘭越	4	11	12	1	0	89.00
6	余市	5	41	45	4	4	89.60
	小計		268	281	13	15	87.36

7 月 出 席 率 ・ 会 員 増 減 数	クラブ数	71クラブ
	期首会員数	2,514人
	当月末会員数(女性)	2,582人(116人)
	増加会員数	68人
	当月平均出席率	84.90%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2013.7.1	2013.7.31	増減	内女性	
7	千歳	4	50	52	2	3	92.83
	千歳セントラル	4	31	32	1	3	80.47
	恵庭	5	40	43	3	3	84.69
	北広島	5	16	17	1	1	87.06
	長沼	4	20	20	0	3	90.00
	由仁	4	7	7	0	0	71.43
小計		164	171	7	13	84.41	
8	えりも	4	21	22	1	1	93.18
	三石	4	15	15	0	2	72.50
	様似	5	24	24	0	1	57.50
	静内	5	65	67	2	0	69.96
	浦河	5	28	28	0	1	86.43
	小計		153	156	3	5	75.91
9	伊達	4	53	54	1	0	83.33
	室蘭	4	37	39	2	0	77.14
	室蘭東	5	35	35	0	0	85.16
	室蘭北	4	32	35	3	2	80.41
	登別	5	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	8	8	0	0	100.00
小計		196	202	6	3	84.99	
10	函館	4	85	86	1	0	80.25
	函館亀田	4	39	40	1	4	97.39
	森	5	41	41	0	0	77.00
	七飯	4	18	18	0	0	83.30
	長万部	4	9	10	1	0	80.00
	函館セントラル	4	25	25	0	2	65.22
小計		217	220	3	6	80.53	
11	江差	5	11	11	0	1	70.91
	函館五稜郭	4	47	50	3	0	87.64
	函館東	5	48	48	0	6	77.83
	函館北	4	22	23	1	0	88.64
	北斗	4	15	15	0	0	52.00
	松前	3	4	4	0	0	75.00
小計		147	151	4	7	75.34	
12	白老	5	29	30	1	1	72.60
	苫小牧	4	52	52	0	2	83.63
	苫小牧東	4	26	26	0	4	87.50
	苫小牧北	4	30	30	0	3	88.42
	小計		137	138	1	10	83.04
合 計		2,514	2,582	68	116	84.90	



1905年、ポール・ハリス以下4名が、シカゴでロータリークラブを創始したことを象徴し、4体のシルエットを主体に、伸びやかなイメージを表現しました。それぞれが1つの方向に手を掲げている姿は、明るい未来の創造を示唆し、社会との繋がりをイメージしています。また背景の2色のグリーンは、深緑が原始の頃より今も残る新札幌の森林を象徴し、明るい緑は、これから増えゆく新たな自然を表しています。クラブが目指す地域への奉仕と環境への思いやりをシンボル化しました。



苫小牧東ロータリークラブは、苫小牧で3番目のRCとして、1992年6月26日認証されました。スポンサークラブは苫小牧北ロータリークラブで、このバナーはスポンサークラブ員のマスタープランをベースに作製されました。苫小牧を象徴する樽前山、工業港、新クラブのテリトリー（馬産地）からイメージされる馬、更に、苫小牧地方に野生している、ハスカップ（ゆの実）を苫小牧市在住の画家本間武雄氏によりデザイン化されたものです。



伊達市は仙台藩一門巨理伊達家一族の集団移住によって開拓された町です。明治3年、屈強な若者を先頭に日本刀を鎌にかえ原始林に挑んだのは総勢2,650人でした。巨理伊達家領主・伊達邦成は家臣の信望が厚い名君で教育、生産技術についても手腕を発揮、学校の設置、西洋機材の導入など北海道開拓の先進地として揺るぎない基を築きました。当クラブバナーはこのような歴史背景を基に武者をイラスト化し、北の湘南といわれる温暖な気候風土をイメージさせる青を基調とし表現しました。



1980年制定
クラブ創立10周年を契機に、バナーを更新しようという意見が多くでて、出来上がったのがこのバナーです。バナーの図案は、少し抽象的ですが、ロータリークラブの大きな目標である「人の和」と手稲のシンボルともいべき雪を、結晶の形で表現したものであります。

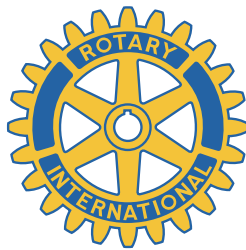
作画 大橋政雄(北海道新聞社)



柏の葉をデザインしたものである。昔、札幌は深い樹林におおわれていた。柏の木もその一種であるが、今も西地区、円山公園を中心として多くみられ、開拓の歴史をしるす。地色の白、葉の赤は、つねに白紙に熱い友情で奉仕の歴史を築いていくことを表現した。



港町室蘭の海をイメージし、周辺に生息するイルカをメインに、室蘭港にまたがる白鳥大橋と野鳥の宝庫としても知られている測量山、太平洋を望む絶景の地球岬灯台がデザインされています。



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

**GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2013-2014 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510**